

## 家族の笑い声が聞こえてくる 眺望と中庭デッキを楽しむ家

仙台市・Cさん宅 夫婦30代、子ども2人

土地

住宅密集地内の  
コンパクトな土地

デザイン

土地の高低差や眺望を  
活かしたプランニング

ライフスタイル

インドアもアウトドアも  
家族で楽しみたい

性能

冷暖房に頼りすぎない  
採光通風に配慮した設計



南東側から見る。傾斜の大きい住宅地の一角にあり、1・2階に並ぶ大きな開口部からは爽快な眺望が楽しめる

小高い住宅地の一角に建つCさんご家族の家。市中心部への近さと、市街を見下ろす気持ちの良いロケーションが気に入って、この土地を購入したといいます。コンパクトで傾斜がきついウケのある土地でしたが、制約を個性にして提案するのが建舎団居の真骨頂。「広いウッドデッキが欲しい」「吹き抜けのある空間にしたい」という施主の希望をしっかりと採り入れながら、眺望を活かしてプライバシーにも配慮した大らかな住まいを実現しました。

なかでもポイントとなったのが、約12畳の中庭デッキです。大きな窓が家の内外をつなぎ、ゆとりを感じさせます。「住宅密集地や狭小地で採用することが多い」と伊藤社長が語るとおり、開放感があるのに外からの視線は気になりません。さらに大きな吹き抜けで室内全体もつながり、家族がどこにいても声の届くのびやかな住まいとなっています。

ここに新居を構えた当時、Cさんご夫妻はまだ20代。長男が生まれたばかりで子育ても仕事も多忙な時期でした。そんな若いファミリーの家づくりを、双方のご両親と建舎団居が全力でサポート。例えば、外壁や内装材の塗装は両家総出で協力して仕上げられており、汗と愛情の詰まった何よりの新居祝いになりました。また、「悩んだり迷ったりした時は、社長やスタッフが親身になって相談に乗ってくれた」とCさんはふり返ります。

あれから4年半。一家は4人家族となり、家中に子どもたちのしゃぐ声が響きます。ときには2階バルコニーで花火を眺めたり、BBQをしたりして、この立地、この家ならではの暮らしを存分に楽しんでいます。



多目的に使える中庭デッキは子どもの遊び場としても大活躍。リビングやキッチンにも見渡せるので安心。隣地完成後、木製フェンスを新設した



約12畳の中庭デッキはアウトドアリビングとしても十分な広さ



将来、吹き抜け上部に増室することも想定した設計



下右: 黒や朱色のシックなカラーでまとめた小上がりの和室。リビングの一部としても客間としても使いやすい  
下左: シンプルでモダンな南西側外観(新築時)。夜の表情も美しい。後に隣接地にも住宅が建ち並んだ

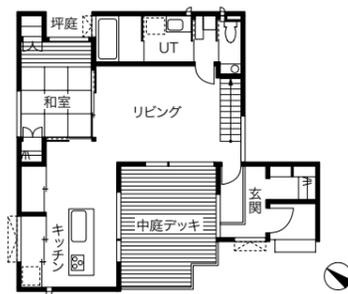


■ 建築データ

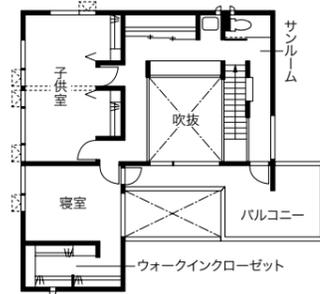
- 構造規模 木造(在来工法)・2階建て
- 延床面積 119.65㎡(約36坪)
- 工事期間 約5ヵ月

■ 主な仕上げ

- <外部> 屋根/ガルバリウム鋼板、外壁/防火サイディング・木羽目板レッドシダー、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:樹脂サッシ(Low-E・ペアガラス)
- <内部> 床/無垢オークフロア・無垢ロジボールパイン・フロアタイル・タタミ、壁/ビニールクロス・カラーワークス・デザインタイル・無垢ロジボールパイン、天井/ビニールクロス
- 断熱仕様
- <充填断熱+付加断熱> 基礎/押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種B55mm、床下/A種フェノール保温板3種1号66mm、壁/吹付硬質ウレタンフォームA種3 75mm、屋根/吹付硬質ウレタンフォームA種3 160mm
- 暖房方式 エアコン



1F



2F

上: 吹き抜けを設けた開放感たっぷりのリビング。化粧梁にはハンモックを設置できる。床は無垢オーク材  
右: 正面に中庭デッキを望むオープンスタイルのキッチン。毎日の太陽の動きが分かるほど陽当たりも良い。リビング側からも中庭デッキに出られる



設計・施工 けんしゃまどい  
(株) 建舎団居 STUDIO MADOI

TEL 022-739-9925  
宮城県仙台市青葉区水の森3-20-1  
<https://studiomadoido.co.jp>  
E-mail: info@studiomadoido.co.jp